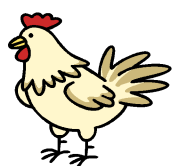


# 市川を調べる

編集 市川を調べる会  
発行 八戸市立市川公民館

【お知らせ】 広報紙「市川を調べる」の各号がインターネットに掲載されています。  
※「市川を調べる会」にアクセス。(または、八戸市立市川中学校)



## 直耕の人 細川重計 元多賀小校長

轟木下 木村隆一

〈細川重計元多賀小学校長について1号でも概略を記述しましたが、今回は詳しく紹介いたします。〉

- 1. 先生の略歴** ・明治37年 和歌山県日高郡南部町みなべちように生まれる。 ・旧制和歌山県立田辺中学校卒業 ・大正11年 三戸郡八戸尋常小学校代用教員 ・昭和18年 **田代国民学校長** ・昭和21年 鳥屋部国民学校長(階上中学校長、階上青年学校長を兼務) ・昭和24年 市川村立多賀小学校長 ・昭和28年 優良教員として青森県知事表彰、三戸郡教育事務所教育主事 ・昭和35年 教育功労者として**文部大臣賞**を受ける。 ・昭和36年 定年退職 ・昭和39年 全国社会教育連盟より、**社会教育功労者**として表彰される。 昭和42年 青森県社会教育指導員 ・昭和48年 **浜市川保育園長** ・昭和52年**新生活協議会表彰** ・昭和52年 **勲五等瑞宝章受章**

- 2. 学校教育の功績** 大正11年に代用教員を拝命以来、訓導・校長として深い教育理念と情熱に立脚した学校運営は、青森県教育の向上・振興に寄与することが極めて大でした。特に、昭和28年からは放送教育研究校として視聴覚教育の重要性を力説し、理論・実践面の開発に尽力されました。また、校長としての指導力が高く評価され、教育実習校の委託を受けるなど、強い教育信念と情熱をかたむけ、後輩の指導に当たられました。

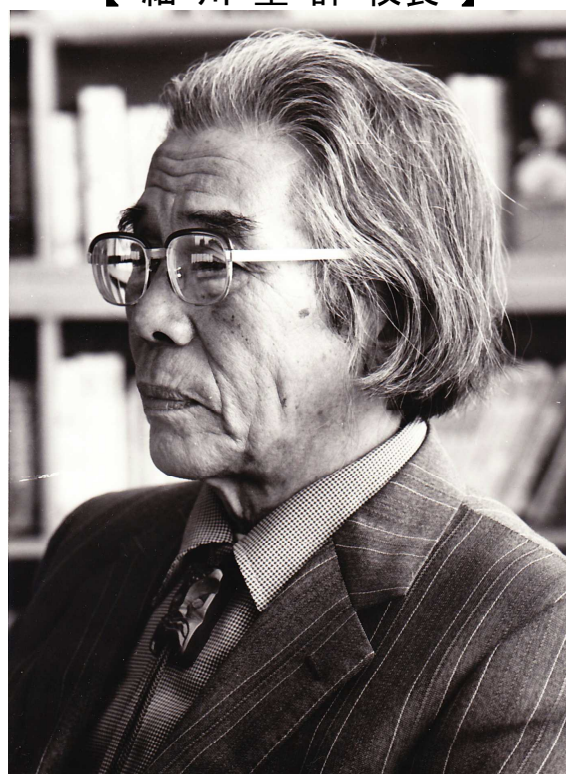
実は、私も実習生として指導を受けました。毎日1冊の書籍を渡され、翌日にその感想を聞かれるのですが、一度あとがきをそのまま話したら完全に見破られ、冷や汗をかいたことが昨日のように思い出されます。

とかく無関心な農漁村の子どもたちに問題意識を持たせるために教育方法の工夫・改善につとめ、その柔軟な発想は地域の人々に多くの影響を与え、市川の教育に貢献されました。

また、教員の個性・能力を伸ばすことを主眼に、自由な雰囲気せつさたくまの中にも厳しさを保ち、切磋琢磨が行われるように配慮されました。

特に最後の勤務校である**多賀小学校**では、寒冷地における野菜栽培や**いちごの促成栽培に成功**し、地域ぐるみの農業経営を実現されました。これにより、PTAは↗

### 【 細川重計校長 】



→勿論のこと、市民からも絶大なる信頼を受け、栄転の話も断り**多賀を永住の地**に選び、農業振興に寄与する全村教育に取り組んだ功績は、誠に大なるものがあります。

鳥屋部小学校勤務時代から寒冷地における農業に意を用い、ぶどう栽培に成功。更に山羊・鶏・七面鳥を飼育し、多賀小学校ではビニールハウスによる野菜栽培・養鶏・養豚等により、地域の青年に夢と希望を与え、地域産業の振興に努められました。

(⇒裏面へ続く)

参考:「直耕の人 細川重計先生を語る」

